

社会資本整備審議会 道路分科会 第28回北海道地方小委員会  
議事概要

1. 日時 令和3年4月16日（金）13時00分～14時30分
2. 場所 TKP札幌駅カンファレンスセンター カンファレンスルーム3C  
（札幌市北区北7条西2丁目9）

3. 出席者

[委員長]

高橋 清 北見工業大学 教授

[委員]

岡田 美弥子 北海道大学大学院 教授  
加藤 由紀子 北海商科大学 教授  
岸 邦宏 北海道大学大学院 准教授  
久保 俊幸 北海道商工会議所連合会 副会頭  
島本 和明 日本医療大学 総長  
菅井 貴子 気象防災キャスター

4. 議事

○新広域道路交通ビジョン（案）・新広域道路交通計画（案）について

【委員からの主な意見】

- ・ビジョン、計画とも北海道に相応しい内容となっている。計画の実現に向けては道路管理者のみではなく、様々な関係者との意見交換も必要と思われるため、連携・協力し推進していただきたい。
- ・道路ネットワークはつながらなければ効果がない。北海道はまだつながっていない区間が多数残っており機能が十分に果たせていないため、早期に整備を進めるべき。
- ・北海道は全国に比べて道路整備状況に大きな差があり、道路ネットワークがつながっていない状況。社会・経済活動を支えるため、広域分散型の地域構造を踏まえても、まずは道路ネットワークを早期につなげるべき。
- ・今回の計画で広域道路ネットワークの階層が整理され、「高規格道路」としてこれまでの高規格幹線道路と地域高規格道路も包含されるかたちとなったが、ミッシングリンク区間の整備等、ネットワークをつなげることのみならず、本来の高規格幹線道路の規格・サービスレベルでしっかり整備することが重要。
- ・広域的な防災機能を強化する道の駅については、北海道の広域分散型の地域構造を踏まえれば、もっと多くの箇所が必要ではないか。
- ・道路整備にあたっては、北海道では景観も観光資源になるため配慮していただきたい。また、道の駅は施設そのものが観光目的にもなるため、防災機能と合わせて、利活用を幅広く検討すべき。

## 【委員長による総括】

- ・事務局から説明のあった「新広域道路交通ビジョン・計画（北海道ブロック版）（案）」について了承。
- ・北海道は国土の22%を占める広域な地域であり、長期にわたり住み続けられる「生産空間」を支え、日本の「食」と「観光」を担うためには、広域道路ネットワークの構築が必要不可欠。
- ・特に、まずはミッシングリンクの解消。調査中あるいは事業中にもかかわらず「当面着工しない」とされている区間についても早期の整備が必要。
- ・北海道は人口減少、高齢化の進行が全国に先んじて著しいにもかかわらず、全国に比べて道路整備状況に大きな差があり、より一層の整備促進が望まれる。
- ・広域道路ネットワークの階層が整理されたものの、本来の高規格幹線道路の規格・サービスレベルで整備することが重要。
- ・今後開催される北海道幹線道路協議会での道路管理者間での議論をはじめ、関係者がよく意見交換の上、連携・協力し、本計画が実現されることを強く願う。